



☆諏訪圏工業メッセ2013視察を実施しました☆

1 学年生徒諸君が、10月17日（木）の午後（4, 5, LHR 時限目）諏訪市諏訪湖イベントホールで催された「諏訪圏工業メッセ2013」を視察しました。

今回の視察は、学校設定科目1学年「SSH情報」の一環として実施され、1 学年、進路指導係、キャリア教育推進委員会、SSH情報担当教諭などが連携して企画運営しました。

平成25年度「諏訪圏工業メッセ2013」は、諏訪地域（原、富士見、茅野、諏訪、下諏訪、岡谷等）の企業を中心に332社（団体）が519のブースを出展し、諏訪圏の製造業を中心とした企業一堂に会した行事です。

当日の会場には、医療・環境エネルギー・航空宇宙など成長分野における新技術・新産業創出への取組みを展示する「テーマゾーン」、海外企業等を招聘しての「国際交流ゾーン」が設置されており、諏訪地域が、精密・微細加工企業の集積地であることが良くわかる展示場となっていました。3時間余りの限られた時間ではとうていメッセの全容を見学することは不可能でしたが、生徒たちも積極的に質問したり、



実物に触れて、絶好の機会を生かそうとしていました。

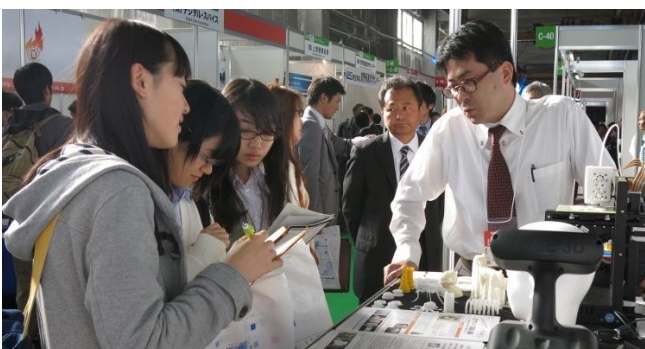


本年度の「SSH情報」では、生徒が現代社会の諸問題という大きなテーマの中に具体的な課題を見出すこと、そして、個人やグループでその課題について探究を進めて、結果を発表する、という取組みを行っています。指導形態は、図書館司書、地歴公民科、家庭科、情報科の教諭が協力して授業を行う融合型授業を実施しており、生徒がいかに大テ

マの中から課題を見つけるか、見つけた課題を図書館などで資料を検索しながらどのように探究・解決していくか身につけさせることを指導目標としています。1 学期には、地球環境という大テーマに沿って課題探究し、まとめて展示発表する学習をしました。

2 学期は、「諏訪地域の企業活動に目を向けて、地域や社会と積極的に関わり、様々な人と触れ合うことで、地域社会や地元企業における科学技術発展の歴史や先端技術の研究開発等に対する関心を高め、高等学校や大学等で学ぶことの意義や各自の生き方を考えること」を目的の一つとしています。

9月13日（金）には、諏訪圏の13の企業を見学・



研修させていただき、今回、さらに「諏訪圏工業メッセ2013」を見学して、今後SSH情報の授業の中で、見学・研修させていただいた企業の活動を参考にして、現代日本の製造業を中心とした産業構造における課題を見つけて、探究活動を実施する予定です。その成果は、校内でのポスター展示発表と授業での判別プレゼンテーションおよび2月15日（土）に諏訪文化センターで行われるSSH課題探究発表会に合わせて、一般公開で発表する予定です。